
日本家族社会学会
第19回大会プログラム

2009年9月12日(土)・13日(日)

開催校・会場：奈良女子大学

大会日程

会場: 奈良女子大学

▼第1日 2009年9月12日(土)

09:30~	受付開始	大学会館1階玄関
10:00~12:30	自由報告(1) ひとり親・里親・障がい者 仕事と生活 子育て 介護 書評ラウンジ 『現代日本人の家族』と全国家族調査	(E218-1) (E108) (E109) (E107) (N202)
12:30~14:00	昼休み 編集委員会 研究活動委員会 NFRJ委員会 庶務委員会	(F中会議室) (E307) (E218-2) (E218-1)
14:00~17:00	学会化 20周年記念編集・研活共同企画テーマセッション 2009 日本の家族社会学は今 - 過去20年の回顧 国際セッション アジアのライフコースと社会変動 - 共同プロジェクトの成果から	(記念館) (N202)
17:00~18:20	総会	(記念館)
18:30~20:00	懇親会	(大学会館2階)

▼第2日 2009年9月13日(日)

08:30~	受付開始	大学会館1階玄関
09:00~10:50	自由報告(2) セクシュアリティ 就業・ライフコース 出産・育児・就業 ラウンドテーブル 国際比較調査をどう読み解くか - 家庭教育6か国比較調査を行って	(E107) (E108) (E109) (N202)
11:10~13:10	自由報告(3) ITと家族 親子関係 家族・生活 テーマセッション 夫婦・親子の交差する視線 - 「現代核家族調査」にみる家族の現在	(E109) (E107) (E108) (N202)
13:10~14:10	昼休み NFRJ08 実行委員会	(F中会議室)
14:10~17:00	シンポジウム 高齢期の新しいつながりの模索 - グローバル化・階層化と家族 テーマセッション 現代の日本における結婚活動(婚活)	(記念館) (N202)

大会プログラム

第1日 9月12日(土)

受付開始 (大学会館 1階玄関)

9:30-

午前部

10:00-12:30

自由報告(1)

ひとり親・里親・障がい者(E218-1 教室)

母親の就労、一人親家族と子育て・家庭教育

母子世帯の実態と政策 - 就労に関する問題

里親の自己認識に関する一考察

「実親」とは何か? - 養子縁組した子どものアイデンティティと親子規範

障害のある親の子育て

司会 湯澤直美(立教大学)

表真美(京都女子大学)

上村昌代(京都女子大学・院)

安藤藍(お茶の水女子大学・院)

野辺陽子(東京大学・院)

澁谷智子(埼玉県立大学)

.仕事と生活(E108 教室)

専門職におけるワーク・ライフ・バランスの指標化

男性のケア参加とワーク・ライフ・バランス

共働き家庭の家事分業とワーク・ライフ・コンフリクト

- 国際比較データを用いた多母集団同時分析から

日本における家族政策の課題

司会 松田茂樹(第一生命経済研究所)

永井隆雄(九州大学・院)

水島洋平(同志社大学・院)

吉岡洋介(大阪大学・院)

鈴木薫(中央大学・院)

子育て(E109 教室)

常勤で働く母親の子育ての現状と課題の考察 - 第3回子育て生活基本調査～幼稚園児・保育園児を対象に

母親のしつけや教育不安への家族や地域、園での支援

- 経年比較調査より

「良い父親」の主観的条件 - アイデンティティ理論の検証
父親の育児参加はどのように子どもの発達に影響を及ぼすのか

司会 斧出節子(華頂短期大学)

邵勤風・高岡純子・山岡テイ(ベネッセ次世代育成研究所他)

山岡テイ・邵勤風・高岡純子(情報教育研究所他)

佐々木尚之(大阪商業大学)

加藤邦子(日立家庭教育研究所)

介護(E107 教室)

介護の社会化に関する意識変化の研究

有配偶女性の老親介護志向と就労との関連性

既婚女性のライフコースと中高年期の社会意識 - 長期追跡パネル調査の結果報告

既婚女性の同居・ケア意識の変容 - 長期追跡パネル調査の結果報告

介護サービスにおける「官・民・家族」の役割分担の再検討

司会 菊池真弓(いわき明星大学)

宍戸邦章(大阪商業大学)

中西泰子(日本女子大学現代女性キャリア研究所)

吉川徹・乾順子・高松里江・三谷はるよ(大阪大学)

高松里江・三谷はるよ・乾順子・吉川徹(大阪大学)

角能(東京大学・院)

書評ラウンジ(N202 教室)

'現代日本人の家族'と全国家族調査

司会 田淵六郎(上智大学)

報告者 西野理子(東洋大学)

コメンテーター 吉田崇(大阪大学)・米村千代(千葉大学)

昼休み (各委員会)

12:30-14:00

午後の部

14:00-17:00

学会化 20 周年記念編集・研活共同企画テーマセッション 2009 (記念館)

日本の家族社会学は今 - 過去 20 年の回顧

司会 藤崎宏子(お茶の水女子大学)
宮本みち子(放送大学)

戦後家族社会学の展開とその現代的位相
教育学と家族研究
支援・ケアの社会学と家族研究
階層研究と家族社会学
フェミニズム論と家族研究

池岡義孝(早稲田大学)
小玉亮子(お茶の水女子大学)
井口高志(信州大学)
岩間暁子(立教大学)
千田有紀(武蔵大学)

国際セッション (N202 教室)

アジアのライフコースと社会変動 - 共同プロジェクトの成果から

司会 山根真理(愛知教育大学)

韓国高齢者のライフコースと社会変動 - テグ広域市調査
結果を中心に
韓国高齢者のライフコースと社会変動 - ソウル特別
市調査結果を中心に
中国の高齢者扶養と援助ネットワーク - 大連市での調査
を中心に
アジアのライフコースと社会変動
フィリピンのエリート女性の家族と結婚
現代日本における女性のライフコースの語りの変容

洪上旭(嶺南大学)
朴京淑(ソウル大学)
李東輝(中国大連外国語大学)
長坂格(新潟国際情報大学)
中筋由紀子(愛知教育大学)

総会 (記念館)

17:00-18:20

懇親会 (大学会館 2 階)

18:30-20:00

第2日 9月13日(日)

受付開始(大学会館1階玄関)

8:30-

午前の部(1)

9:00-10:50

自由報告(2)

セクシュアリティ(E107 教室)

ゲイカップルの家計組織と家事分担 - パートナーと同居する男性へのインタビュー調査を通して
オランダにおける同性間の婚姻の実際 - オランダ在住日本人男性の事例
レズビアン・ゲイ・バイセクシュアルと異性愛家族

司会 大貫挙学(慶應義塾大学)
コメンテーター 釜野さおり(国立社会保障・人口問題研究所)
神谷悠介(中央大学・院)

大山治彦(四国学院大学)

三部倫子(お茶の水女子大学・院)

就業・ライフコース(E108 教室)

性別役割分業観のゆらぎと労働時間 - 家庭と職場の視点から
大学生のジェンダー意識とライフコース選択について - 理系専攻と文系専攻の比較
日本の雇用慣行と夫婦関係 - なぜ夫婦正社員という選択が増えないのか
性別分業の存立構造 - 「ジェンダー革命」はなぜ起こらなかったのか

司会 林葉子(お茶の水女子大学)
岩下好美(お茶の水女子大学・院)

亀井あかね(東北工業大学)

永瀬伸子(お茶の水女子大学)

加藤彰彦(明治大学)

出産・育児・就業(E109 教室)

就学前児を持つ母親の生活と意識 - 「育児の価値」の規定要因
日本における第3子出生行動の分析
出産・育児を理由とした女性の離職過程 - イベントヒストリ分析が示す近年の趨勢
東アジアにおける就業と家族形成 - ミクロデータの比較分析

司会 福田 亘孝(青山学院大学)
瓜生淑子・杉井潤子(奈良教育大学他)

守泉理恵(国立社会保障・人口問題研究所)

坂本有芳(東京理科大学)

小島宏(早稲田大学)

ラウンドテーブル(N202 教室)

国際比較調査をどう読み解くか - 家庭教育6か国比較調査を行って

司会 牧野カツコ(お茶の水女子大学)

報告者 渡辺秀樹(慶應大学文学部)・酒井計史(国立女性教育会館)・大槻奈巳(聖心女子大学)
コメンテーター 落合恵美子(京都大学大学院)・袖井孝子(お茶の水女子大学)・宮本みち子(放送大学)

自由報告(3)

ITと家族(E109 教室)

司会 石井クンツ昌子(お茶の水女子大学大学院)

コメンテーター 牧野カツコ(お茶の水女子大学)

育児期の母親の IT 利用によるコミュニケーションとネットワーク

ユン・ジンヒ・劉楠(お茶の水女子大学・院)

育児期の母親の IT 利用が親族ネットワークに与える影響について

花形美緒(お茶の水女子大学・院)

育児期の母親の IT 利用と夫婦関係

佐々木卓代(お茶の水女子大学・院)

育児期の母親の IT 利用と育児不安・育児充実感との関連

中川まり(お茶の水女子大学・院)

親子関係(E107 教室)

司会 春日井典子(甲南大学)

中期母娘関係に関する一考察 - 同居する 20 代未婚女性および母親へのインタビュー調査結果から

郭麗娟(東京学芸大学・院)

中途同居への模索 - 老親扶養に関する規範と役割の考察
ジェンダーと高齢期の世代間援助 - 瀋陽市(中国)と横浜市の事例を通して

金沢佳子(千葉大学・院)

楊雪(慶應義塾大学・院)

デカセギが家族に与える影響 - 日系ブラジル人の子育てを中心として

品川ひろみ(札幌国際大学)

家族・生活 (E108 教室)

司会 木戸功(札幌学院大学)

現代日本における子どもの「生きづらさ」の実態と構造
- 新聞への投書分析を中心に

山下美紀(ノートルダム清心女子大学)

30 代女性向けの雑誌における「働くこと」の語られ方
家族団らんと夕食

橋本嘉代(お茶の水女子大学・院)

井田瑞江・松信ひろみ・内田哲郎・大山治彦・永井暁子(関東学院大学ほか)

青年が親子関係を肯定的に評価する過程

大島聖美(お茶の水女子大学・院)

テーマセッション (N202 教室)

夫婦・親子の交差する視線 - 「現代核家族調査」にみる家族の現在

司会 木村清美(大阪産業大学)・久木元真吾(家計経済研究所)

家族・仕事に関する夫婦の意識と実際

水落正明(三重大学)

「家計」に関する夫妻の相互認識と夫婦関係評価・well-being

田中慶子(家計経済研究所)

父親の子育てによる父子関係・夫婦関係への影響

永井暁子(日本女子大学)

夫婦関係・親子関係とパーソナル・ネットワーク

野沢慎司(明治学院大学)

- その相互連関と家族メンバーの well-being

昼休み(委員会)

13:10-14:10

午後の部

14:10-17:00

シンポジウム (記念館)

高齢期の新しいつながりの模索 - グローバル化・階層化と家族

司会 岩上真珠(聖心女子大学)
田淵六郎(上智大学)

階層化するグローバル社会における高齢期家族
介護サービスと高齢者を取り巻く人間関係について

葬送の個人化のゆくえー新たな社会的合意を目指して

安達正嗣(千里金蘭大学)
山王丸由紀子(特定非営利活動法人フェリスモンテ)
森謙二(茨城キリスト教大学)

コメンテーター 石原邦雄(成城大学)
後藤澄江(日本福祉大学)

テーマセッション (N202 教室)

現代の日本における結婚活動(婚活)

司会 石井クンツ昌子(お茶の水女子大学大学院)

「婚活」現象の裏側
若年層のパートナー関係と結婚活動 - JLPS(Japanese Life Course Panel Survey) の分析
結婚仲人の語りからみた「婚活」
公的結婚支援事業の現状と課題 - 兵庫県における 2 事業を事例として

山田昌弘(中央大学)
村上あかね(東京大学)

小澤千穂子(大妻女子大学)
大瀧友織(広島国際大学)

連絡事項

1. 参加にあたって

- 参加されるかたは、できるだけ事前に参加費の振り込みをお願いします。事前振込みの参加費は報告要旨集込みで、一般会員 4,500 円、学生会員 3,500 円です(当日参加の場合の参加費は、一般 5,000 円、学生 4,000 円)。下記の郵便振替口座へ同封の振込用紙にて **8月20日**までに振り込みをお願いします。振り込み後大会にご出席できなくなった場合、報告要旨集は後日郵送いたしますが、参加費の払い戻しはご容赦ください。
- 非会員で参加をご希望の方は、大会当日に受付までお申し出ください。非会員の方の参加費は、報告要旨集を含んで、一般 5,000 円、学生 4,000 円です。
- 大会の参加受付は、第 1 日目(9月12日)は午前 9 時 30 分、第 2 日目(9月13日)は午前 8 時 30 分からです。

2. 大会報告要旨集

- 大会当日受付でお渡しいたします。大会に欠席で要旨集をご希望の方は、別途、事務局まで連絡ください。大会終了後、要旨集 2,000 円 + 送料でお分けします。
大会実行委員会事務局メールアドレス: jsfs09@cc.nara-wu.ac.jp

3. 懇親会

- 大会第 1 日目(9月12日)午後 6 時 30 分より、会場内にて懇親会を開催いたします。会費は事前振込みの場合、一般会員 3,500 円、学生会員 2,500 円(当日支払いは一般 4,000 円、学生 3,000 円)です。参加をご予定の方は、大会参加費とともに事前振込みをお願いいたします。懇親会費も、ご欠席の場合の払い戻しはいたしませんので、ご了承ください。
- 日本の伝統的な音楽と舞と言え、雅楽、舞楽となります。今回はせつかくの古都奈良での学術大会ですので、少しでもこの世界に触れて頂ければと思い、舞楽の代表的演目「太平楽」(写真)を国際的にも活躍している天理大学雅楽部の舞と音楽でお楽しみいただきたいと思います。装束だけでも見応えのある古の雅です。

4. 昼食

- 事前の参加手続きの際に、弁当のご予約を承ります。代金は1日目、2日目各1,000円です。弁当を希望される方は、大会参加費とともに事前振込みにてご予約をお願いいたします。大会当日の弁当のご注文は受けかねますのでご注意ください。なお、大学の周辺には飲食店などがいくつかありますが、特に日曜日は数が少なくなりますのでできるだけ事前にお弁当をお申し込みください。

5. 参加費・懇親会費・弁当代・要旨集代振込先

郵便振込口座番号:00920 - 6 - 162819 口座名称:第19回日本家族社会学会大会実行委員会
一般:大会参加費(5,000円、事前申込4,500円)・懇親会費(4,000円、事前申込3,500円)
学生:大会参加費(4,000円、事前申込3,500円)・懇親会費(3,000円、事前申込2,500円)
一般・学生ともに 一日目弁当代(1,000円)・二日目弁当代(1,000円)

6. 研究報告者の方々へ

- 自由報告の**報告時間は20分、質疑応答は5分**です。
- 大会当日の配布資料は、**80部程度**を各自でご用意ください。会場での個別のコピー・サービス、配布資料の会場への事前送付には対応できかねますので、ご了承ください。
- 報告用の機器としては、Windows PCによるMS-Office (PowerPoint) をご用意いたします。
- PowerPoint等の使用に関しましては、以下の点にご留意ください。
 - a. 開催校では報告者の希望に添って、最大限の準備と協力をいたしますが、機器操作の結果につきましては報告者の自己責任でお願いします。また、万が一機器が作動しない場合に備えて、複写して参加者に配布できる印字原稿を用意いただくなど、次善の方策もお考え下さい。
 - b. 機器を使用する報告者は、**部会開始20分前**に報告会場となる教室におこしください。機器使用に関する準備・打ち合わせなどを行ないます。
 - c. 開催校では、プロジェクターに接続済みのノートパソコン(いずれもWindows XP, Micro Soft Office Power Point 2003 (ppt形式))をすべての部会の教室に用意します。データはUSBメモリーに記録してお持ちください。なお、ご自分のパソコンを持ち込んで使用される場合には、接続に多少の時間がかかりますので、事前にパソコンを立ち上げておくなどの余裕をもって準備をお願いします。
 - d. レーザーポインタなど必要とされる機器についてはご自分でご用意ください。

7. ホテル

- すでにメルマガやニュースレターでもお知らせしましたとおり、各自でご予約をお願いいたします。
<http://yamatoji.nara-kankou.or.jp/>
なお奈良に宿泊予定の会員のみなさまに当日会場でのアンケート記入のお願いがあります。懇親会アトラクション費用援助のため奈良県ビジターズセンターに補助金申請をした関係で、100人以上の参加者に「宿泊アンケート」をお願いしなければなりません。大会当日はご多用でしょうが、氏名と宿泊施設名の記入だけですので是非ご協力のほどお願い致します。

8. 大会期間中の託児室の設置について

- 大会期間中、奈良女子大学内に託児室を設置します。開催校である奈良女子大学から保育支援基金の援助を得て、保育料無料で提供させていただくことになりました。
「保育サポートの会「ぼっけ」」に、保育サポーター〔(財)21世紀職業財団主催の育児サポーター講座の修了生〕の派遣を依頼し、0歳児から小学生のお子さんをお預かりします。
保育場所：大学会館3階(当日、受付でお尋ね下さい。)
玩具は用意しますが、昼食、おやつ、飲み物やその他必要なもの(おむつ、着替え、バスタオル等)は各自でご用意ください。昼休みは、お子さんと一緒をお願いします。
保育料：無料
お子さんの保険は、保育サポーターが加入する(財)21世紀職業財団の保険で対応します。
保育定員：利用可能なお子さんの人数は1日あたり15人程度を予定しています(ただし、申込みのお子さんの年齢や保育時間等の状況により若干変動する可能性があります)。どうぞお早めにお申込み下さい。

申し込み方法：

保育を希望される方は、～ の内容を必ずご記入の上、8月25日(火)までに、下記宛にお申し込み下さい。

会員のお名前、 お子さんのお名前・性別、 お子さんの年月齢(月齢も)
授乳中か(母乳の場合はその旨も) おむつ使用か、 集団保育の経験の有無、 アレルギー等特記事項、 保育希望の日時(何日の何時から何時まで保育を希望するか)、 連絡先：メールアドレスと当日連絡のとれる電話番号。

申込み先：大会実行委員会事務局メールアドレス jsfs09@cc.nara-wu.ac.jp

9. その他

- 当日、抜き刷り交換コーナーを設けますので希望者は **8月30日(日)までに事前連絡** ください。なお当日の抜き刷り冊子の管理(展示、撤収など)については各自の責任で行ってください。
- 大会に関してご不明な点などありましたら、大会実行委員会事務局 (jsfs09@cc.nara-wu.ac.jp) 宛にメールにてお問い合わせください。

会場案内

【会場・連絡先】

キャンパス：〒630-8263 奈良市北魚屋西町

事務局：〒630-8285 奈良市北魚屋東町

電話：0742-20-3220

大会実行委員会事務局：jsfs09@cc.nara-wu.ac.jp

大会本部(大会当日): 奈良女子大学 生活環境学部 清水新二研究室 (E棟3階304 TEL: 0742-20-3486)

【会場へのアクセス】

* 京都から

JR 京都駅で近鉄京都線に乗換、近鉄奈良駅まで特急で約35分、急行で45分+徒歩約5分。

* 大阪から

JR 大阪環状線(外回り)で鶴橋へ、近鉄奈良線(快速急行・急行・特急)で近鉄奈良まで約50分+徒歩約5分。

* 関西空港から

・空港バスで近鉄奈良駅まで約80分+徒歩約5分
・南海空港急行で難波へ。
・空港バスで難波へ。

* 大阪空港から

・空港バスで近鉄奈良駅まで約60分+徒歩約5分
・空港バスで難波へ。

* 新大阪から

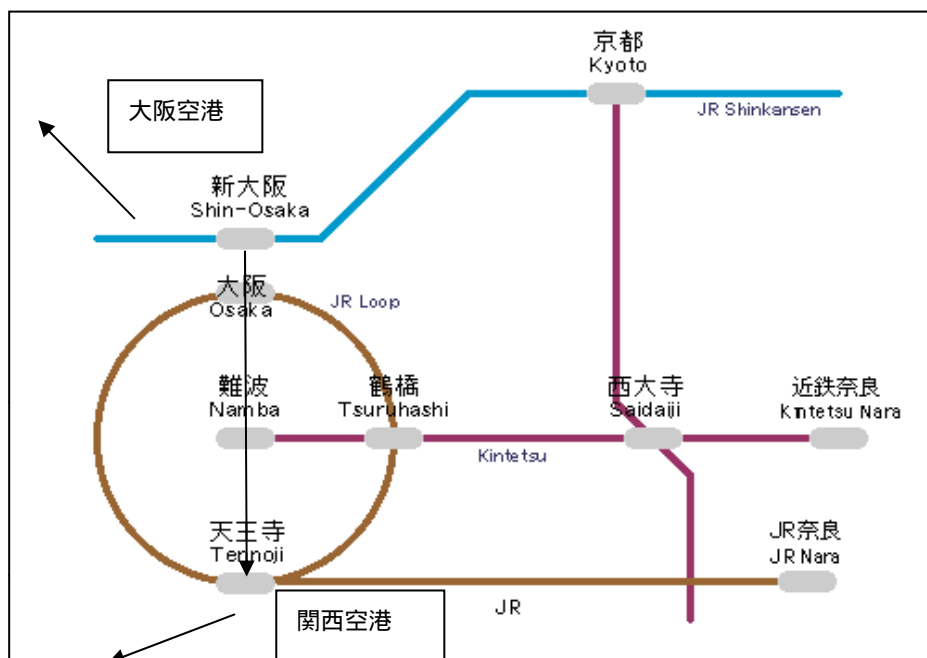
JR 東海道本線で大阪駅へ。

* 天王寺から

・JR 大和路快速で JR 奈良駅まで約30分+バス5分+徒歩約5分。
・JR 大阪環状線(内回り)で鶴橋へ、近鉄奈良線(快速急行・急行・特急)で近鉄奈良まで約50分+徒歩約5分。

* 難波から

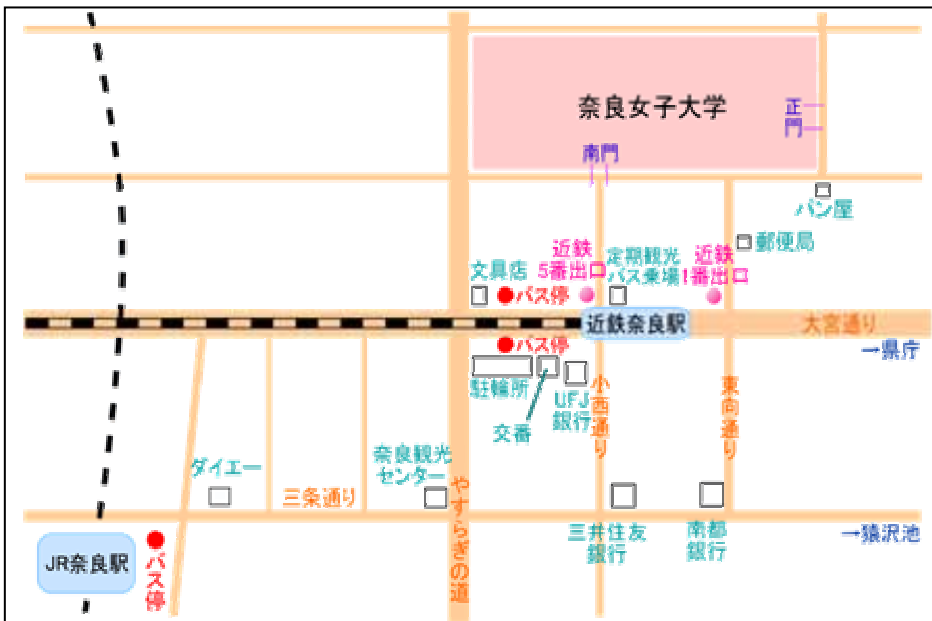
近鉄奈良線(快速急行・急行・特急)で近鉄奈良まで約35分+徒歩約5分。



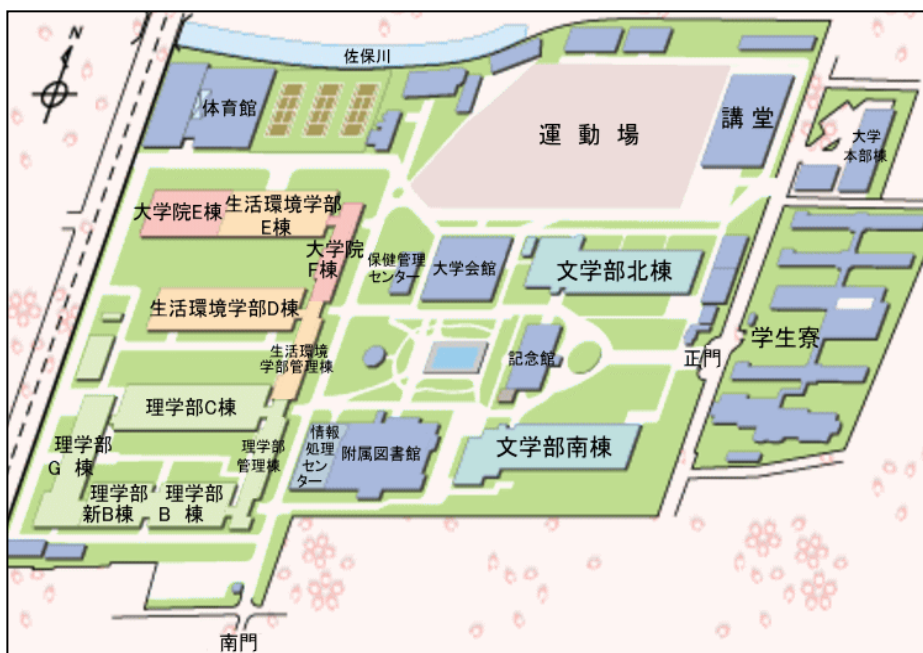
***JR 奈良駅から**

奈良交通バスで近鉄奈良駅まで 5 分 + 徒歩約 5 分 .

【会場周辺マップ】



【会場マップ】 *今回使用する会場は記念館、大学会館、E 棟（生活環境学部）、F 棟（大学院）それに N 棟（文学部北棟）です。



【大会実行委員】

清水新二（委員長・奈良女子大学）、杉井潤子（京都教育大学）、平松紀代子（聖母女学院短期大学）、水島かな江（奈良教育大学）、宮坂靖子（奈良大学）、吉原千賀（高千穂大学）